

藤棚新聞



第50号
2016年(平成28年)
10月20日
偶数月発行
フリーペーパー

新イベントに次々チャレンジ！ 藤棚商店会長に聞く



赤荻勇二郎会長

藤棚商店会は今年、初めてのイベントを次々に開催しています。春のフリーマーケット、夏まつりのライブやビアガーデン、11月12日(土)には秋まつりを初開催。活性化めざましい藤棚商店会。赤荻勇二郎会長にその秘密を伺いました。

「去年の5月に会長が変わり、その頃から皆でなんとかしよう、という機運が盛り上がりました」。奥様も「とにかくやってみよう、やってダメなら次また考えよう、の勢いです」と証言。

初の試みの夏まつりは、「夏の思い出を子供たちに作らせたい、商店街を知ってくれる人を増やしたいと考えました。子供たちが遊べる所もあり、夕方からはビアガーデンにして、出し物はみんなが感動するものを選びました」。

コンセプトは「商店街の自分たちが楽しくなかったら、お客様も楽しいはずがない。自分たちでやろうとみんなが店を出しました」。そして大盛況のイベントに。「秋まつりはスポーツ、“藤棚5種競技”。フラフープと幅跳びと縄跳び、グランドゴルフにダーツ。若手の実行委員会が集まって、金銀銅メダルや副賞を出そうと、率先してやってくれています」。同日、コミュニティールーム「藤棚ワイワイ広場」もオープンします。「休憩、手荷物預かり、車椅子のまま入れるトイレ、授乳・おむつ替え場所も作ります。気兼ねなく使えるトイレも」。《2面に続く》



夏まつり

西前ファミリー

西前小学校の西門にある

謎のモニュメント。大小の

人型が並ぶ彫像は、登校する児童を見守っているかのようです。いつだれが、製作の意図は？西前小学校の末松校長先生にお話を伺いました。

石でできたこの作品は、石彫家・中岡慎太郎さんが平成4年に寄贈したもので、題名は「family」。南アフリカ

産の黒い花崗岩で、一つの石を8つに割って形を作り、それらを結合したそうです。

製作者の中岡さんより、西前小のみんなに残したメッセージがあります。「人類は家族。友だちの他、いろいろな人と関わりをもって生活しています。地球上、人間は種(しゅ)として一つ、世界中みんなが繋がっています。私の作品も、一つに戻ってつながって、完成します。私の、みんなの家族もね」。みんなは「西前ファミリー」ですね。



《「新イベントに次々チャレンジ！ 藤棚商店会長に聞く」1面から》

これからの抱負は？「年間行事を構築する、そして“売り”を作る。藤の棚がある綺麗な公園のような商店街にしたい。来年にかけて着手して、テレビ局が取材にやって来るような商店街に」。

赤荻会長は化粧品店「いろや」の社長さん。2代目で創業は終戦直後の昭和22年。「昔でいう小間物屋でした。当時は何でも置けば売れる時代。化粧品だって秤(はかり) 売りをしていた時代でした」。いまでは港南台や上大岡にもお店を出しています。団塊世代ド真ん中とおっしゃる奥様は、「商店会に女子部があって、お店の奥さんや女性スタッフとカラオケしながら、あれやったらこれやったらとアイデアを出し合っています」。なるほど、こんなところに藤棚商店会のパワーの秘密がありそうですね。

西区地域防災拠点総合訓練



大きな災害を想定して、防災拠点を中心に避難、拠点開設・運営と救助の連携を実行する総合訓練が、10月23日(日)9時から12時(予定)に稲荷台小学校、大谷公園、円満寺などで行われます。

今回は、西区の中核の訓練と位置付けて、できるだけ現実の動作を前提とした総合的な訓練を目指しています。避難訓練では災害の発生を見て、いっとき災害避難場所または広域避難場所に避難してから地域防災拠点に集合します。稲荷台小学校では地域防災拠点を開設・運営し、住まいを失うなどで避難してきた人やペットの支援などの訓練を行います。また、地域防災拠点での生活も体験します。

<実施項目>生活用具/ゴミ対策、体育館の区割り、食糧飲料水確保、トイレ対策、ペットの取り扱い、炊飯、要援護者支援、医療救護隊、物資搬送など。そのほかにも、倒壊家屋からの救助やアクセス路線を確保する訓練も行います。

避難を計画する側とそれを目標に行動する住民が相互に連携することにより、情報の共有を図った訓練となることが期待されます。

空手で3名が栄冠を獲得

9月18日、平塚市で行われた第121回極真空手清武会秋季トーナメントで、スタジオジョー(浜松町3-6)村越道場所属の3名が出場し、見事優勝を果たしました。



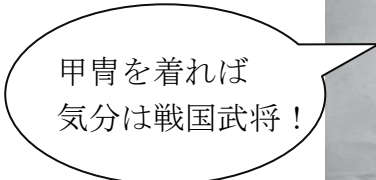
写真の左から、35歳以上クラス優勝の磯口斉裕さん、42歳以上クラス優勝の斉藤則行さん、村越師範を挟み、一般のクラス優勝 山道宗晃さん。村越師範は「日頃の練習の賜物です。これからも練習を重ね、より高いところを極めてほしい。」と語っています。



西前小コミュニティーハウス文化祭

西前小コミュニティーハウスでは、11月13日(日)10時から恒例の文化祭が実施されます。

演技発表や作品展示のほか、甲冑を着て記念撮影をするコーナーもあります。



この町
この人

名曲を歌う



西区中央2丁目にお住まいで、昔懐かしい名曲を歌うミュージシャンであるジョージさんをご紹介します。この日は、レストランのターブルトートで復興支援チャリティーライブに出演中のジョージさんに会いました。

ジョージさんは広島で生まれ育ち、シンガーソングライターとしてスタート。福岡のナイトクラブで歌っているときに、当時エレキの神様と呼ばれた寺内タケシ氏にスカウトされてギターとボーカルを担当。日本各地を公演するほか、旧ソビエト連邦に国賓として招かれて演奏したこともあるそうです。また、ジョージさん個人で、中国のサパークラブで活動をしていたことも。



ジョージさんは、「自分でレコードを出して30歳になったら音楽活動に終止符を打ちたい」と考えていたそうですが、現在もチャリティーコンサート等に精力的に活動されています。「今もって音楽から離れられません」と苦笑いします。

この日はワイルドワンズの思い出の渚、ビートルズのヘイジュード、エルビスプレスリーのブルーハワイ等を、清涼感のある、甘い声で歌ってくれました。「私の歌を聞いて、お客さんが喜んでくれれば十分です」と、心に秘めた熱い思いを語ります。

「藤棚Wハートマーク」のスポットで

どうぞお休みください

藤棚商店街に来られた方が、休憩したり、お手伝いを頼める場所・お店のマークです。それは、藤棚一番街のライブステーションから始まりました。マークは地域活動グループ「はじめのいっぽ♪」と商店街が協力して作りました。ハートが描かれた藤の花のマークは、障がいを持った方でも、安心して商店街を楽しめるようにとの思いがこめられています。

・・・何のマーク??
藤棚エリアにある商店街に来られた方が、休憩したり、お手伝いを頼める場所やお店のマークです。車椅子やベビーカーでは、広いスペースが必要になります。立ち寄られた方が、気軽に利用できるように、お車椅子やベビーカーの方、外国人の方にもわかるようにデザインされました。商店街の名前にもある藤の花に描かれた、お手伝いの必要な人と手を差し伸べる人を表しています。

・・・名前は??
「藤棚Wハートマーク」です。藤棚エリアの商店街が数にも優しい商店街であるように、集ったすべての人たちが、あたたかい気持ちで過ごせるように、名前が付けられました。Wには「West（西）」「Wisteria（藤棚）」「Welcome（ようこそ）」の3つの思いが込められています。

・・・どなたが考えたの??
『はじめのいっぽ♪』グループです。西区地域の大学校（地域活動に取り組んでいる人たち向けの西区主催の講座）の卒業生を中心としたグループです。地域の中で障がいのある人たちと共に生活していくためにできることを考えています。今回は、外出するためのきっかけづくりとして、マークを考えました。

↑藤棚Wハートマーク

昔と今

西前商店街をバスが通った！



↑47系統山下ふ頭行きバス（市営バス路線計画課より）

かつて藤棚の商店街に、バスが通っていたことをご存知ですか？

西前商店街（現・西前中央商店会）の中を走り抜けた市営バス47系統。保土ヶ谷車庫から西前商店街、戸部本町、野毛、桜木町を経て、山下ふ頭まで運行していました。同系統は28系統（芹が谷～山下ふ頭）とともに、平成19年4月に廃止されました。



↑現在の西前商店街の入口

西前小コミュニティハウスに多目的トイレが新設!

9月28日、西前小コミュニティハウスに多目的トイレができました。多目的トイレにはオスメイトや子供用のベッドも完備され、体が不自由の方や高齢者、子育て中の方も気軽に利用できるようになりました。



同館の江間館長にお話を伺ったところ、「多目的トイレの設置は、長い間の住民の要望でした。また、トイレもすべて洋式に変わり、大変きれいになったと好評をいただいています。皆さんが心地よく使えるトイレができたことを大変嬉しく思っています。」と感想を述べていました。

待っていた浅間コミュニティ

改築工事に入っていた浅間コミュニティハウスが9月26日にオープンしました。28,000冊の蔵書があり図書機能が充実したほか、会議室、学習室、ロビーがあってリクレーション、サークル活動に利用できます。

「子どもから高齢の方まで利用できます。また、平沼集会所と連携してどちらも使いよくします」と中谷館長は話します。利用時間：平日9時～21時、日・祝9時～17時
TEL：045-311-6085



藤棚新聞はおかげさまで50号!

2008年8月9日に準備号を発刊してから8年余り。これからも藤棚の歴史に思いを寄せ、人とひとのつながりを作り助け合いを図っていきます(スタッフ一同)。

藤棚俳壇・選者—三村風彦

蕎麦処真みどりバツタと相席す
秋祭り縁日重なり賑わいを
秋祭はぐれて焦る人の群れ
ボトル水バッグに入れてバス停に
露天には裸電球江戸風鈴
朝顔の蔓迷ひをり竿の先
南部風鈴ガラスに負けない音色して

《寸評》
バツタは「飛蝗」「蝗虫」と書いて、秋に多く見かける昆虫。草深い有名な蕎麦処での情景

*
投句—当季雑詠で一人2句まで、氏名、連絡先を記載して。次回締切は十一月二十日。巻頭句には粗品を進呈。

Eメール：fujidananp@jcom.zaq.ne.jp
FAX：045-895-0081

今吉正枝
荒川文子
雨宮則子
鹿沼久子
小泉道子
黒田ゆきゑ
鈴木初枝

地元で30年! 親身な指導!

- 起業・会社設立
- 決算・申告・記帳代行
- 相続・贈与・事業承継

相 談
無 料

寺田会計事務所

公認会計士 寺田誠一
税理士 寺田悟史
西区中央2-13-2 伊勢新ビル2F
324-0510

検索 寺田会計事務所 横浜

【発行】藤棚新聞 〒220-0061 横浜市西区久保町17-2

【HP】<http://fujidana.web.fc2.com/> 検索

アーカイブ藤棚新聞をご覧ください。

【TEL】090-9683-6099 【FAX】045-895-0081 【メール】fujidananp@jcom.zaq.ne.jp